

## 令和5年度 第1回 大牟田市協働のまちづくり推進委員会（摘録）

開催日時 令和6年1月18日(木) 18時00分～20時00分  
開催場所 市役所北別館第1会議室  
出席者 委員8名  
行政5名  
傍聴者 報道関係1名、一般傍聴2名

### 次 第

1. 開会
2. 市民協働部長挨拶
3. 議 事

#### (1)市民と行政との協働事業及び市民参加の実施状況について

##### ①市民と行政との協働事業について

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | (別紙資料により説明)  |
| (質 疑) |  |
| 委 員   | 資料9ページの協働の形態について、形態別第3位の「その他」とは具体的にどういったものか。   |
| 事務局   | 主なものとしては、協働の相手方が実施する事業の広報を市が実施した場合等となっています。  |
| 委 員   | 資料8ページ部局ごとの協働事業について、教育委員会の協働事業が0件とは考えられないが、協働事業の認識不足により未報告の可能性があるのではないかと。事務局より積極的に働きかけてもいいのではないかと。 |
| 委 員   | 資料10ページ活動分野別の事業数について、子どもの健全育成の分野が多いが、具体的にはどういったものか。  |
| 事務局   | 子どもの健全育成の分野で最も多い事業は、学童保育の指定管理業務となっています。  |
| 委 員   | 資料10ページ活動分野別の事業数について、⑩の団体活動支援が増加しているのは、「えるる」の関連事業が影響しているのか。  |
| 委 員   | 市民活動登録団体は60前後で数自体増えてはいないが、コロナ禍で自粛していた活動の再開や「えるる」の利用者も回復していることが影響しているのではないかと。                       |
| 事務局   | 市で実施している、各種相談事業の増加も影響しています。  |

##### ②市民参加の状況について

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | (別紙資料により説明)  |
| (質 疑) |  |
| 委 員   | 資料9ページ公募委員について、公募委員の人数や割合とあったが、例えば類似団体や近隣自治体と比較して多いか少ないか分かれば教えていただきたい。 |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 類似団体等の比較はしていません。   |
| 委員  | 比較調査等可能であれば実施していただきたい。   |
| 委員  | 資料「令和4年度協働のまちづくり推進委員会が出された意見について」の2ページ女性の参画に関する意見について「女性が参画しやすいように、附属機関等の会議の開催日時は夜間とか休日も含めて検討されるべき」ということで本委員会は夜間開催になっていると思いますが、実際、委員は参加しやすくなりましたか。 |
| 委員  | フルタイムで働いていることもあり、開催時間については個人的には助かりますが、3歳児を抱えているので家族や託児の支援があればありがたいと考えています。そういったことから、子育て世代のお母さんが参加するには厳しいと思います。                                     |
| 委員  | 女性参画のために一歩進んだと思います。更に進めるため委員の意見が実現できれば女性委員の数も増加してくるのではないかと思います。  |

## (2)校區まちづくり協議会の設立状況について

|     |             |
|-----|-------------|
| 事務局 | (別紙資料により説明) |
|-----|-------------|

( 質 疑 )

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | 先ほど説明があった各校区のまちづくり協議会等における、新築住宅や集合住宅等への個別訪問、未加入者も参加できるイベントの開催、未加入者を加入に繋げる取り組み、まちづくり協議会の事業内容を伝える校区だよりのポスティング等、加入率の増加に繋がる取り組みについても資料に記載したほうがいいのではないかと。<br>そのほか、地域組織代表として委員より意見はないか。  |
| 委員  | 明治校区は、マンションやアパートが多い地域のため、マンションの理事会や総会の場に参加して、まちづくり協議会への加入をお願いしています。最初は加入を断られることもありますが、何度もお伺いしお願いすることで加入に繋がっているケースもあります。<br>また、地域に住んでいる以上は何かしらの繋がりがあります。例えばPTA、子供見守り、リサイクル当番等です。そういった団体を通じて地域の繋がりが出来て協力体制も整っていくのでそういった団体の関係を引き継いでいくことが重要と考えています。<br>実際、私はマンションの理事長もやっています。25世帯が入居するマンションですが、その方たちと、どこで繋がっているかという、やはり、リサイクル当番や子供見守り、そういうところで繋がっています。 |
| 委員  | その他、委員より意見はあるか。<br>事務局から、人口減少と高齢化率の上昇に伴い、民生委員や消防団員の担い手の減少等の説明がありましたがこの点について何かありませんか。   |
| 委員  | 大牟田市の人口と高齢化率の資料で、年齢不詳とはどういった意味ですか。   |
| 事務局 | 国勢調査のデータが基本になっており、少数ですが回答されない方がいらっしゃいます。恐らくそういった方が年齢不詳で計上されていると思います。   |
| 委員  | その他、委員より意見はあるか。  |
| 委員  | 新聞記事ですが、全国的に見ると民生委員で30歳未満の方もいるので、今後は、定年した人に役員をお願いするという考えではいけないと思っています。実際に、私たちの組織にしても3分の1の方が仕事をやりながら役員をやっています。しかも、定年延長もあり、そこに期待するのは厳しいものがあります。また、定年後を待つということになると、組織そのものが高齢化してしまう。やはり組織の若返りを考えていく必要があると思っています。   |
| 委員  | 人口減少と高齢化率については、本議題と関連しますので皆さんの意見を聞いてみました。最後に、先ほど説明のありました、粘り強い訪問の事例や、まちづくり協議会の存在意義を正しく伝えることが、まちづくり協議会の加入率の増加に繋がっていくと思います。   |

### (3)市民活動の状況について

|     |             |
|-----|-------------|
| 事務局 | (別紙資料により説明) |
|-----|-------------|

( 質 疑 )

|    |   |
|----|---|
| 委員 | コロナ禍において民間企業もそうですが、市民活動団体も活動休止だとか、解散に至った団体もあるように全国的な傾向として聞いていますが、大牟田市ではどうか。   |
| 委員 | コロナ禍が直接の要因じゃないかもしれませんが、NPO法人については一番多い時期で32団体、現在29団体になっています。最近の相談では、会員の高齢化や財源の問題等、どこの団体も同じ悩みが多いです。ただNPO法人については、毎年、福岡県へ事業の報告書を提出するのをつい忘れてしまい、解散してしまうような事例もあります。また、報告書の作成が不慣れな団体もあり、報告書作成の支援を行って活動を維持できます。そういったこともあり、減少している要因はコロナのみではないと考えています。<br>そのほか、商店街の中心地区商店街連絡協議会等も、人手不足で悩んである。そういった団体と市民活動団体が協働していくことが重要と考えています。最近、100円玉商店街や、まちゼミの開催で中心商店街も活性化してきていますので、商業者と市民活動団体等がコラボできるような協力をしていきたいと考えています。 |
| 委員 | 商業者と市民活動団体との協働について、商工会議所からの推薦委員としての意見はどうか。  |
| 委員 | 商工会議所推薦委員が本日欠席されておりますので、私の方から発言させていただきます。<br>商店街の状況については、大牟田市特有のものではないですが、全国的に厳しい状況になっており、決して楽観視はできないと思っております。そういった中で、さきほどのイベント等も続けていくことで中心商店街の活性化に繋がりますが、そういったイベント開催の準備段階等では工夫も必要と思ったところです。  |
| 委員 | 中心商店街は厳しい状況のようですが、工夫が必要な部分をまちづくり協議会等、地域総がかりといいますか団体の枠を超えた取り組みが必要と思います。<br>委員より他に何かあるか。  |
| 委員 | 社協が関係している地域の団体についてですが、校区社協、まちづくり協議会、民生委員児童委員の協議会が全市的にあり、それぞれ校区ごとに活動されています。<br>そういう方々にお話を伺っても、やはり高齢化の影響というのはとても大きく、先ほど事務局の分析にもあったように、定年延長や共働きの関係で、まちづくり協議会の活動に参加されないというのは実感としてありますので、市民活動を行うにあたって、そうした時間的余裕の無さや、ほとんどが無報酬といったところがネックになっているものと思っています。ボランティアの気持ちだけで活動を行うには、厳しい時代になってきていると思います。  |
| 委員 | 委員より他に何かあるか。  |
| 委員 | 私は、市民活動支援策のはじめの一步事業に記載してある、おおむたみらい会議の副代表をしています。実際に、活動資金として大牟田市から補助金を交付していただきました。<br>若者の団体は、資金面が厳しく活動が制限されたりするので、このような補助金の交付を受けることによって、活動の幅が広がった。この制度が、自分たちの口コミで広がり、いろんな活動団体が大牟田市と連携していけたらと思っています。   |
| 委員 | おおむたみらい会議の活動は今後も続けていく予定ですか。   |
| 委員 | はい。   |

### (4)地域コミュニティの今後の在り方に関する提言(案)について

|     |             |
|-----|-------------|
| 事務局 | (別紙資料により説明) |
|-----|-------------|

( 質 疑 )

|     |  |
|-----|--|
| 委 員 | 部会でまとめられた提言内容の説明がありました。<br>参考資料①市民アンケート報告書、参考資料②地域役員等によるワークショップ結果、参考資料③若者・市民活動団体・事業者へのインタビュー調査結果の各種参考資料をもとに、提言書が作成されていますが、委員より何か意見等はあるか。   |
| 委 員 | この提言書はどのように活用されていくのか。  |
| 事務局 | 協働のまちづくり推進員会から、本提言を大牟田市に対して提出された後につきましては、この提言で求められている内容が、行政単独で可能なものと、地域や市民活動団体等と協働して取り組まなければならないものが多く含まれています。<br>そのようなことから、取り組み内容をわかりやすい冊子にして、地域等に周知をしていきたいと考えています。  |
| 委 員 | 冊子の印刷部数は想定しているのか。  |
| 事務局 | 1,000部を予定しています。  |
| 委 員 | 配布先の想定はしているのか。   |
| 事務局 | 町内公民館、自治会への配布及び「えるる」への配架を考えています。   |
| 委 員 | そのほか、ホームページからダウンロードできるような方法は検討しているのか。  |
| 事務局 | 電子データ版も作成する予定にしております。また、ホームページやSNS等でも発信していく予定です。   |
| 委 員 | 冊子だけでなく、そういった媒体を活用し周知に努められたい。<br>そのほか、提言内容についての意見はないか。   |
| 委 員 | 提言書(案)12ページの「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」を新設する<br>あるが、どのような体制を想定しているのか。  |
| 事務局 | この提言内容の進捗管理や地域課題に対する助言をいただく場になりますので、協働のまちづくり推進委員会に新たに部会を設置し、アドバイザーボードとして常設していければと考えています。   |
| 委 員 | 中心になるのは調査研究部会委員なのか、それとも違う人選になるのか。  |
| 事務局 | 委員の任期との関係がありますので、今後検討してまいります。  |
| 委 員 | その他、委員より意見等はあるか。   |
| 委 員 | 部会では5回にわたる会議があり取り纏めにはご苦労があったと思います。先に感想を述べさせていただきますと、とてもよくまとめていただいていると思います。<br>ただ、民生委員・児童委員の担い手不足の件については、特に触れられていないような気がします。この市民アンケート調査等の結果を受けての提言としては完成されたものと思います。担い手不足の件は、子ども会においても負担が大きく、子ども会の解散や参加者の減少に繋がっています。<br>また、民生委員の方については、民生委員の活動を自費でタクシー代を出されたりしているケースもあります。こういった組織の担い手不足の問題についても参考となるような資料になって欲しいと思います。 |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 子ども会や民生委員の担い手不足の件と提言書の内容について、部会に参加した委員より何かあるか。  |
| 委員  | 部会委員として参加して考えたことは、まず、アンケートを受けての課題等を身近なところから、どのように解決していこうかということを考えています。<br>その上でアンケート結果から読み取れるものを、事務局で系統ごとにまとめていただいたものとなっています。<br>また、アンケートの結果から求められているものを、オウム返しのように提案するのではなく、何とか中長期を見据え、少し踏み出していこうとの気持ちを取りまとめた提案だったと思います。<br>部会に参加させていただいたけれども、いろんな思いがある中で、この担い手不足の問題については、一足飛びに解決できるような特効薬があるわけではないので、現時点で提言できる内容を取りまとめさせていただいたと考えております。 |
| 委員  | 当初は少し硬い内容でしたが、専門的な表現等をやわらかく皆さんがわかりやすいようにと何度も修正され、事務局はご苦労があったと思います。内容としては、まとまったものが出来たのかとっております。  |
| 委員  | 改めて、さきほど委員の発言にあった、子ども会や民生委員の担い手不足についての内容の盛り込みについてはどうか。  |
| 委員  | さきほどの発言については、どのような内容が部会で協議されたのか再確認したい思いがあったので質問させていただきました。提言書の内容としては完成しているものと思います。  |
| 委員  | そのほか、委員より何かあるか。   |
| 委員  | 委員が言われてるように、わかりやすくまとめてあると思います。提言を受けての冊子が、地域コミュニティ組織へ配布されるのであれば、いろんな場面で活用でき、それこそ児童・民生委員の方々に対しても参考となる資料と思いました。  |
| 委員  | 例えば、まちづくり協議会等の役員の役割を見直すと表現しているが、話題になっている民生委員や子ども会について、この「等」で読み取れますか。  |
| 委員  | 子供会や児童・民生委員も、まちづくり協議会の構成員なのでいいのではないかと。  |
| 委員  | 校区社協や民児協、子供会など、すべて含まれるのがまちづくり協議会です。   |
| 委員  | 校区によって小学校PTA等の構成メンバーに違いがあるのではないかと。  |
| 委員  | 確かに学校の考え方もあり校区によって違いがあるが、まちづくり協議会の考え方としては、子供会等を取り組む運動をやっていきます。  |
| 委員  | まちづくり協議会等の役員といった表現で、そういった構成員が思い浮かべばいいが、まちづくり協議会の構成メンバーが分からない人のために、構成メンバーを協働のまちづくり推進条例のハンドブックにあるようなイラスト等でわかりやすく伝える必要もある。   |
| 事務局 | ご意見ありがとうございます。<br>今後、提言を受けて作成していくハンドブックにも、そういったわかりやすいイラスト等で一般の方にもわかりやすく伝えいけるようにしたいと思っております。   |
| 委員  | そのほか、委員より何か意見はあるか。  |
| 委員  | 資料9ページの協働についてですが、地域を超えた活動が必要と思っています。私たちの活動も地域にとらわれず、内容によって、いろんな場所で活動している。<br>ただ、防犯や防災に関する取り組み等、地域組織へお願いする等の棲み分けができれば、地域にとらわれる必要はないと思いました。また、そういった内容が含まれた提言になったと思っています。  |

|    |  |
|----|--|
| 委員 | 今の時代、いろんな団体等が資金面で大変と思います。そういった中で、いつも思っていますが、市役所が事業をやる際に、3年間とか期間を限定して補助金事業を実施されていますが、もう少し長期的な助成を市に望んでいます。   |
| 委員 | 白川校区では、6年ほど前からジュニア民生委員児童委員を実施されています。そこでは6年生が運動会の案内を持って高齢者宅を訪問する等の活動がされています。そういった活動のおかげで、帰り道がわからなくなっていた高齢者の方が無事帰られた事例もありました。また、この活動は中学校に行っても高齢者の認知症の理解の勉強に繋がっています。このような事例から考えると、地域の方と子供たちが接触する機会をつくるかが重要だと思っています。 |
| 委員 | この取り組みは白川校区のみか。  |
| 委員 | 中友校区は10年以上実施されています。  |
| 委員 | このような事例紹介等を、地域づくりミーティングでの情報共有や、地域コミュニティアドバイザー会議での協議事項としてもいいのではないかと。  |
| 委員 | 中友の児童民生委員、それから白川のジュニア児童民生委員、いずれも地域の中で福祉等に関することを子供たちが自分で考えるきっかけとなっている。子供たちが活動するためには、学校や地域の大人の見守りがあり、それが地域の力になっていると思います。<br>そのほか、ジュニア児童民生委員活動等で例えば赤い羽根の街頭募金の活動等も子どもたちの様々な教育にも役に立っていると思っています。                       |
| 委員 | その他、委員より意見はあるか。  |

#### (5)その他

|    |   |
|----|---|
| 委員 | これまでの議題も含め意見要望等あるか。   |
| 委員 | 数年前までは学校の協力もあり通学合宿事業をやっていたが、現在はできていない。教育委員会の協力をお願いしたいと思っています。   |
| 委員 | 昔、教育委員会で携わっておりましたが、内容としては、1週間程度、みんなで共同生活を行いながら普段の生活も行う事業だったと思います。例えば一人っ子だったりすると、子どもたちの中でのコミュニティを養っていく、そういうところでの協調性等なかなか育まれない学びが目的だったと思います。そこに見守り隊やPTAが参加し、子どもたちの育成には非常に効果があると言われておりましたが、現実には、全員が一度に宿泊する場所の確保や、そこから学校に通うにあたっての通学の安全性の担保等、課題もあったと思います。  |
| 委員 | 子どもやPTAは昨年実施したいと考えていたが学校との調整ができなかった。  |
| 委員 | 高校はボランティア部があったりするので、まちづくり協議会とかのイベントにも、ボランティアとして派遣できるならば、自分の地域だったり、高校のある地域等で活動すれば、卒業生等が来てくれるだけで先生たちも喜んでくれるし、本人たちも楽しいと思います。<br>中学校にボランティア部があるか知りませんが、そういう組織や部活等を立ち上げてもらって中学生も自分の出身小学校のイベント等の手伝いや、PTAのイベント等に参加してくれると先生たちも喜ぶし、本人たちも楽しいと思います。<br>また、そういった子供たちの姿を見るとことで閉鎖的になっている親も刺激をもらい、すばらしい取り組みができるのではと思います。 |
| 委員 | さきほどの、通学合宿については50数年前に公民館単位で実施されていたと記憶しています。当時の公民館は、定期的なイベントの実施や、子供たちの教育に関する事業も教育委員会と協議しながら実施されていた覚えがあります。通学合宿は、当時、非常に先進的でしたが、その周知方法や事業の継続性について課題があったと記憶しています。さらに、   |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>私がPTA会長をしていた20年前も1週間程度の通学合宿がありました。地域によってかなり温度差がありました。</p> <p>また、ボランティアに関しましては学校によって、ボランティアポイント制度等もありますが、それを快く思っていない方もいますので、そのあたりを注意して取り組んでいく必要もあると思っています。</p> |
| 委<br>員 | <p>そのほか高校生等の取り組みで、JR銀水駅トイレの改修費用を高校生等がクラウドファンディングで集めた取り組み等、そういった高校生等をうまく地域の活動に巻き込んでいくことで地域の力になると思います。</p> <p>ほかに委員から何かあるか。</p>                                    |

## 7. 閉会 (20:00)